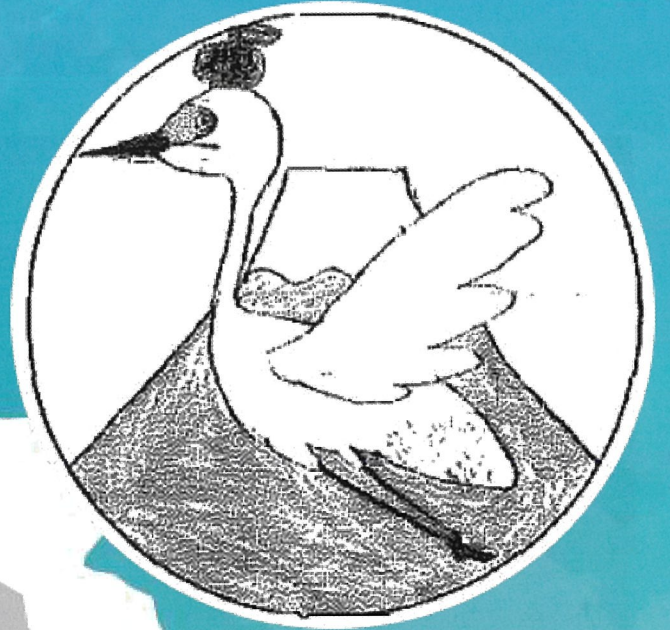


# 中井っ子

中井町子ども育成連絡会 広報紙

2024年4月 最終号

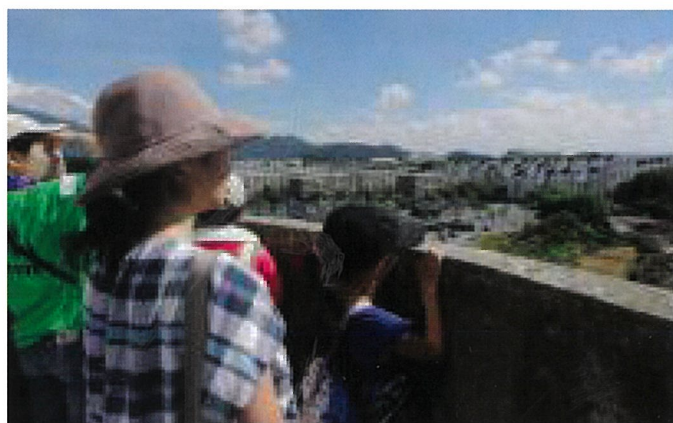
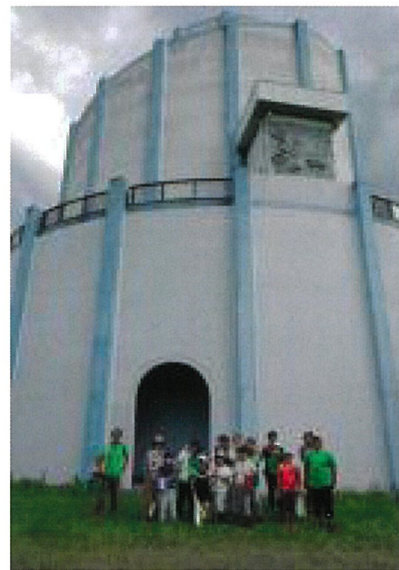


歴代の町子連ロゴマークです

## 【 生物多様性ハイク 】

長い夏休みも過ぎた9月3日(日)に砂口配水池からスタートしました。3家族と役員等含め、16名の小さな旅！！

砂口配水池では、町職員より変わった形をした施設の説明を受けた後、塔に登り、箱根や大山の山々、江ノ島を見ることができました。



震生湖までの道のりは、日頃通ったことのない道の風景があり、時折吹く風を感じながらおしゃべりしながら、ハイクを楽しみました。

震生湖では、地層学の研究者である門田先生や生物に詳しい小泉先生のお話を聞きました。震生湖のできた理由やサンゴの化石を手にとって興味深く見入り、湖畔を移動しながら、生物の多様性を肌で感じ、自然の凄さを体感出来ました。

最後に関東大震災の時に下校途中に被災した少女2名の慰霊碑の前で「どうしたら自分を守ることができるか」の話しを聞き、慰霊碑に手を合わせて帰路につきました。



## 【戸沢村・中井町青少年ふれあい交流（冬期事業）】

1月20日から22日の3日間、中井っ子の9名が冬期の青少年ふれあい交流事業のため戸沢村を訪問して来ました。

歓迎セレモニーでは、8名の戸沢っ子に笑顔で出迎えていただき、夏期交流から半年ぶりの再会を果たしました。セレモニー後は、さっそく雪遊びです。珍しいくらい雪が少ないとの事でしたが、周辺の雪を集めて山を作っていて下さり、ソリやチューブ滑り、雪合戦を行い、あっという間に打ち解け、仲良く楽しみました。夕方には餅つき体験をして、その餅をお腹いっぱい食べました。

夜は、紙風船飛ばしを観せていただき、冬の夜空に舞う紙風船の幻想的な情景に感動していました。



2日目のメインは、スキー場でのスキー・スノーボード体験でした。楽しみと不安が入り混じる様子の子供達でしたが、戸沢村の指導者の方々のおかげで滑られるようになり、すっかり上達しました。あいにくの雨にもかかわらず、それも気にせず熱中している子供達の姿に大きなエネルギーを感じました。その後は隣接する温泉に入りました。この日の夕食は『ひっぱりうどん』で、シンプルなのに絶妙に美味しく、子供達も喜んでいました。夕食後は、伝承わら細工の『一輪挿し』作りを体験しました。日常生活では体験出来ない貴重な時間になったと思います。

あっという間の最終日。お別れ会では、『自分達が二十歳になった時に再会する企画があったら嬉しいです』という、子供達からのお別れの言葉があり、親睦の深さを感じました。戸沢っ子と名残惜しいお別れの後、沿線を車で走りながら最上川を眺め、戸沢村の景色を目に焼き付け、帰路についた子供達の姿は、三日間の充実さに満ちた顔つきに見えました。

戸沢村の実行委員の中には、長年運営に携わって下さっている方もおり、この交流事業の歴史や絆を感じるものでした。今後も実りある交流が続きますよう願っております。

## 【最後に】

今年度は新型コロナウイルス感染症が5類に位置付け変更され、全国各地そして、中井町でもイベントの開催が徐々に復活してきました。

春の例大祭や夏の納涼祭など、町民の皆さんの活気や笑顔があふれました。

中井町子連も子ども会の協議会から改編し、新たな町子連として、活動初年度の歩み始めましたが、時代のニーズとの温度差や本部役員やおとなり隊だけでは活動運営は大きな負担となり、活動継続することが困難のため、終結の時となりました。

私も20年間、子ども会活動に携わり、本部役員、子ども会役員の皆さん、町民の皆さん、そして行政の方々のご理解とご協力のもと、多くの中井っ子の育成のサポートができたことに感謝申し上げます。

今後も町子連OB、OGとともに様々な形で中井っ子の学びをサポートしていきたいと思えます。

最後に中井っ子が未来の中井町を愛してくれるように、これからも「地域のか」で自然豊かな地の魅力を伝え、人と人とのつながりを大切にしたいと思います。

町子連を代表し、

## 「町民の皆さん、ありがとうございました」

